

第5回 関東防災連絡会 議事要旨

1. 日時

平成26年12月24日（水）10:00から11:30

2. 場所

さいたま新都心合同庁舎2号館5階 大会議室501

3. 議事次第

別紙 議事次第のとおり

4. 開会挨拶（会長：関東地方整備局長）

年末のお忙しい中、第5回関東防災連絡会に、出席いただき謝意を申し上げます。

平成26年は災害がたくさん（大雪・豪雨・土砂災害・噴火）あった年（以下の様な災害）で、脆弱な国土であることをあらためて認識している。

自然災害にはしっかり備え適切に処理していく、そして次の災害が発生した際には迅速に被害最小となる様対応するという正のスパイラルアップをして次につなげて行かなければと考えている。

今日の議題については次の項目について報告させていただき、情報共有、議論等させていただきたい。

①今冬の円滑な道路交通の確保に向けた関東甲信地方の大雪対応

今年の2月に起きたこと、それから改善したこと、それを実際に今年の大雪に対しどう対応してきているかを報告、議論したい。

②首都直下地震道路啓開計画

③平成26年11月21日災害対策基本法の一部を改正する法律の告示

大規模災害時において、道路管理者は直ちに道路啓開を進め、緊急車両の通行を迅速に確保するため、道路管理者に権限が付与（放置車両対策の強化）された。

災害時の道路交通の確保に向けて、（本会員である）地方公共団体や高速道路会社と連携し、しっかりと対応していく。

④10月29日の関東地整と関東防災連絡会（共催）「H26首都圏直下地震防災訓練」の報告とH27年度訓練について

実際に訓練を行ったことで良くできたところ、見直しが必要なところ、やってみてあらためて分かった課題等について議論させていただきたい。

これ以外にも各機関の方々からのご報告をいただくことになっている。

本連絡会が、国民の生命及び財産を守り、又、社会経済活動を支えていくということにつながっていくと思いますので本会議を有意義なものにしていただく様お願いする。

5. 議事要旨

以下の報告事項を事務局（関東地方整備局）並びに各機関が行った

(1) 災害対策基本法の一部改正（関東地方整備局）

- ・法改正と「災害対策基本法に基づく車両の移動の流れ」を説明

(2) 今冬の円滑な道路交通の確保に向けた関東甲信地方の大雪対応の取組方針（関東地方整備局）

- ・今年の2月の大雪対応の報告
- ・今冬の大雪対応の取り組み方針（主な4項目）を説明

(3) 今冬期の首都圏における大雪対策（NEXCO東日本 関東支社）

- ・資料をもとに今冬の大雪対応の取り組み方針を説明

- (4) 平成26年2月14日に発生した大雪による管内鉾山の坑廃水処理機能停止事案への対応
(関東東北産業保安監督部)
 - ・先年度大雪にて起きた秩父市中津川の坑廃水処理機能停止事案に対する対応の報告
- (5) 平成26年2月の大雪による被害に係る環境省の対応 (関東環境事務所)
 - ・大雪における災害等廃棄物処理事業補助金の紹介と各自治体の申請状況の説明
- (6) 首都直下地震道路啓開計画 (関東地方整備局)
 - ・首都直下地震道路啓開計画の検討状況・検討内容について説明
- (7) 首都圏における大規模水害対策 (首都圏大規模水害対策大綱の概要 等) (関東地方整備局)
 - ・大規模水災害に関するタイムラインの説明
- (8) 11月22日発生 of 長野県北部を震源とする地震
 - ・地震の概要と関東地整の対応内容の報告 (関東地方整備局)
 - ・長野県北部地震及び御嶽山噴火対応の報告と各機関からの協力への感謝の報告 (長野県)
- (9) 首都直下地震防災訓練 (関東地方整備局)
 - ・首都直下地震検討部会にて検討しているタイムライン等の説明
 - ・H27訓練に向けた方針の説明及びH26実動訓練の報告
- (10) 災害情報共有システム (Lアラート) の普及に向けて
防災非常通信セミナー (案内) (関東総合通信局)
 - ・Lアラートの説明と広島県土砂災害における活用事例の報告
 - ・防災非常通信セミナー開催の案内

・ 報告後の意見交換

○ 本年の災害対応の実体験について (関東地方整備局)

- ・ 御嶽山噴火の対応について
新燃岳噴火の経験から以下のことを想定し、指示することができた
 - ① 灰の除去が必要であることから清掃車を準備させた
 - ② 土石流に注意が必要なので専門家を派遣する準備をした
- ・ 長野北部地震対応について
「通れる道」「通れない道」「迂回路の有無」の早期把握を実施した
- ・ 大雪対応について
一度、車がスタックすると、動けなくなる車が続出し、対応に多くの時間を要する。よって、早期に交通止めをする事が重要と考えている

○ UTMグリット地図について (関東地方測量部)

- ・ 防衛省から、被災した地元から現地確認に行ってもらいたいと依頼された「地名」が何処を指すのか分からない事例が多いと相談を受けている
地名が分からなくても位置を表示できるよう「UTMグリット」に対応した地図を作成したいと考えている

6. 閉会挨拶 (副会長代理：関東運輸局総務部長)

本日はお忙しいところ出席いただき謝意を申し上げます。

首都直下地震をはじめとする大規模災害が発生した際に、各機関が所有している情報を共有することにより、災害時の対応が効果的に推進できる様にいっそう連携体制の強化を図りたいので協力をお願いしたい。